

# 街なかを元気にするまちづくりの会

“ぬまづ まちなか美術館”構想 街なかを市民アートでまちづくり

## 目的

街なかのワクワク感を取り戻し、街なかを元気にしたい

沼津の中心市街地は、かつて人々が行き交い賑わっていました。魅力ある通りが連続し、活気ある街なかを形成していました。しかし現在、人々は郊外の大規模店舗に足が向かい、中心市街地はかつての賑わいが薄れています。

本来、沼津の街なかへ出かけると、いつもワクワクする高揚感が感じられました。いろんなものが豊富にあり、たくさんの人たちが集まり、好奇心と興味をそそってくれました。街なかのワクワク感を取り戻せないか、街なかを元気にできないか、そのために私たちにできることを提案し、実現したいと思いました。

2017年度に沼津市地域自治課が主催した「地域デザインセミナー」を受託した一級建築士事務所アトリエ結が、セミナー研修生に街なかをワクワクする場にはできないかと呼びかけ賛同者10名が集まりました。2019年12月、机上の空論で終わるのではなく、街に出てできることを見つけ、自らの意志で行動し実践する「街なかを元気にするまちづくりの会」(代表 塩見 寛)を結成したものです。

## 現状

スポンジ化が進行しコンクリート壁面で囲まれた味気ない空間が存在する

かつてビルが林立し賑わっていた中心市街地は、現在、スポンジ化が進行し、ビルが壊され、歯抜け状態になり、そこは多くが駐車場となっています。敷地いっぱい建っていたビルがなくなると、そこはコンクリート壁面で囲まれた味気ない空間となり、隣同士ほとんど接して建っていたため、壁面にはほとんど窓がありません。

人目に晒すことがなかったコンクリートの壁面が白日にさらされると、窓のない、表情もない壁のため、それは醜いです。そのコンクリートの壁面を、市民アートで絵を描くことによって、街なかを元気にしたいと考えました。

## 活動

「街なかを市民アートでまちづくり」構想を提案する → 「壁アート2022」実施

- 2020.08 打合せ会議 事業内容「街なかを市民アートでまちづくり」、今後のスケジュールと実施内容協議
- 2020.09 現地調査…利用可能な壁面の位置・場所を調査…33壁 17スペース
- 2020.10~2021.03 打合せ会議 壁に描く絵アートについて、テーマ、コンセプト等を各自プレゼンし協議  
壁面に描く絵のテーマ、具体的なデザイン募集 スケジュール
- 2021.03.11~30 6つの商店街組合に「街なかを市民アートでまちづくり」構想提案を説明、意見聴取
- 2022.02 安田屋ビル壁アート2022実施について、承諾を得る
- 2022.06 「壁アート2022」作品公募
- 2022.08 審査会：応募27作品 → 10作品選考 駅前市民ギャラリーに10作品を展示 8/19金~9/2金
- 2022.09 審査会：公開審査、応募者プレゼンテーション・・・1点選考  
最終選考者：戸塚未帆(沼津市在住)氏との打合せ
- 2022.10 景観条例・景観計画基準について行政(沼津市まちづくり指導課)と協議、承諾
- 2022.11 覚書締結：最終選考者・街なかを元気にするまちづくりの会  
描画 12m×8m 施工：(株)微助人 11/16~11/30 → 2022.12.01 描画完成

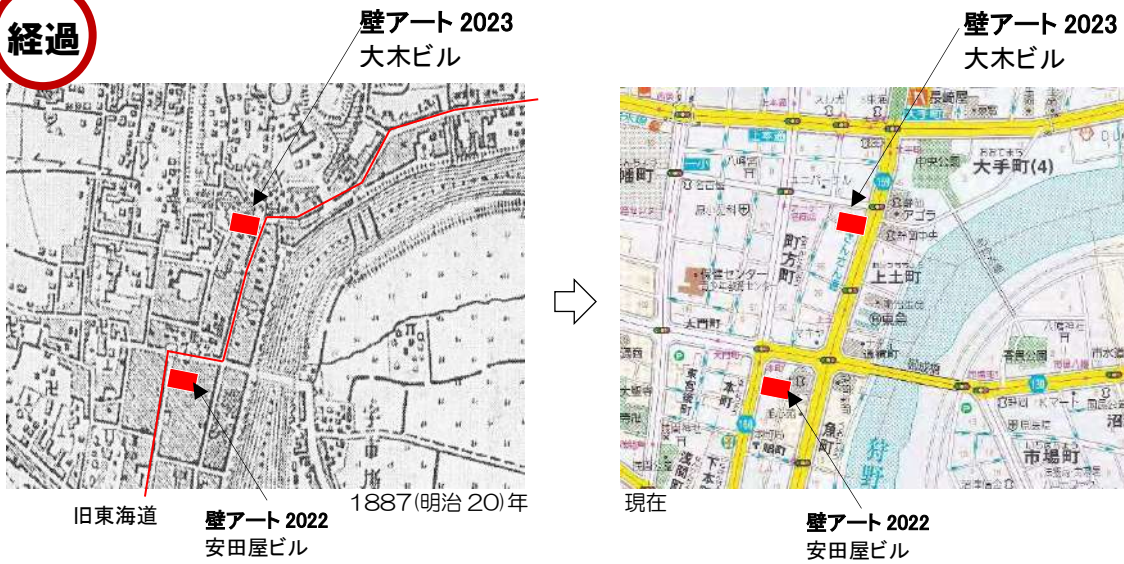
## 実施

旧東海道とさんさん通りが交差する場所・大木ビル「壁アート2023」実施

テーマ「クロスロード」

- 旧東海道と新しいさんさん通りが交差する場所にふさわしい壁アート
- 古いものと新しいものが交わり融和する壁アート

## 経過



- 2023.11 壁アート2023・作品募集(11/22水~1/12金)
- 2024.01 壁アート2023・作品締切・・・5作品の応募  
審査会・・・5作品について審査(1/13土)  
テーマに合っていない、場所にふさわしくない、壁アートとして評価できない等の理由により、5作品とも採択できないという結論に至った。

壁アート2022は27作品の応募があったが、壁アート2023は5作品しか応募がなかった。原因は、募集の時期が2022は7月8月の夏休みをはさんだ時期だったのに対して、2023は年末年始をはさんだ冬の時期だったことにあると考えられる。

## 実施

沼津中央高校美術部と上土商店街組合とのコラボ実現「壁アート2024」

## 今後の予定

「壁アート2023」は大木ビルで実施すべく市民公募したが、応募が少なく実現できなかったことの反省を踏まえ、「壁アート2024」は地元の上土町商店街組合、沼津中央高校美術部とコラボして進めている。

“ぬまづ まちなか美術館”構想として「壁アート2022」が実現し、「壁アート2024」も来年3月には実現の見込み。引き続き2025、2026へと繋げていきたい。市民アートで街なかを元気にするプロジェクトを継続していきたい。



沼津駅前の大きな壁面



壁で囲まれた味気ない空間



味気ないコンクリートの壁面



壁アート2022



大木ビル



壁アート2024実施場所



ワークショップの様子・・・壁画案の検討 2024.08

高校生と地元商店街がコラボして壁アートで街なかを元気にしよう